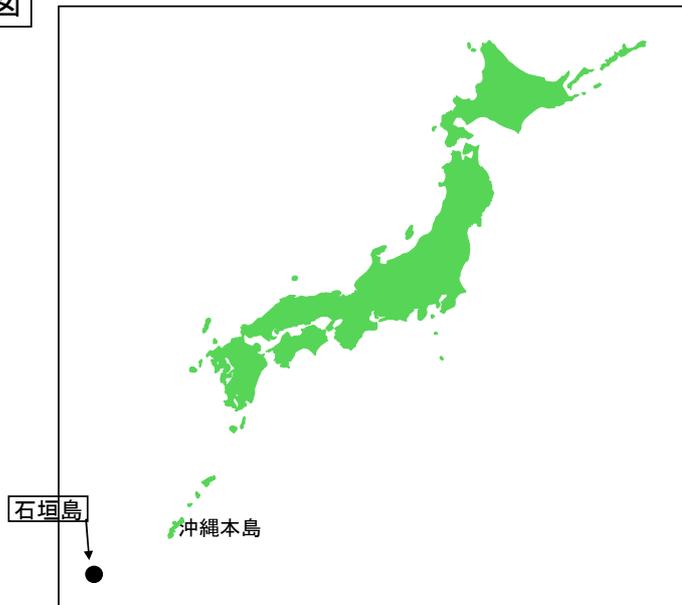


航空 (**空港整備事業**)

新規事業採択時評価カルテ

平成	16	年度								
事業名(箇所名)	新石垣空港建設事業			担当課	航空局飛行場部計画課			事業主体	沖縄県	
				担当課長名	課長 須野原 豊					
実施箇所	カルテ表示項目									
	沖縄県石垣市									
	検索対象都道府県指定(複数指定化)									
	沖縄県									
事業諸元	滑走路2,000m×45m、エプロン、航空保安施設等を整備									
事業期間	事業採択	平成17年度	完了	平成24年度	予定					
総事業費(億円)	約420億円									
目的・必要性	<p>石垣空港は、那覇、宮古等の県内路線のほか、東京、大阪、名古屋、福岡の本土路線が就航する八重山圏域の基幹空港である。平成15年度の利用実績は、旅客約180万人、貨物約1万トンであるが、これは全国の第三種空港の中でともに第1位であり、非常に利用度の高い空港である。</p> <p>現空港は、滑走路延長1,500mのまま暫定的に小型ジェット機が運航しているが、航空機に課される大幅な重量制限が、利用者に運賃・時間の面で負担をかけるとともに、八重山圏域の農水産業、観光産業等の振興の制約となっている。また、航空機騒音による現空港周辺の住環境や教育環境の悪化、増大する航空需要への対応の困難性、安定運航上の不安等の課題がある。</p> <p>新空港整備事業は、これらの課題を解決するため、中型ジェット機も就航可能な滑走路長2,000mの本格的なジェット化空港を建設するものである。</p>									
便益の主な根拠	<p>利用者便益(経路便の直行化による時間短縮・費用節減効果等)、供給者便益</p> <p>需要予測(平成25年度):202万人</p>									
事業全体の投資効率性	基準年度		平成16年度							
	B:総便益(億円)	867	C:総費用(億円)	365	B/C	2.4	B-C	501	EIRR (%)	10.8
感度分析			費用便益比(B/C)	純現在価値(B-C)	経済的内部収益率(EIRR)					
	①需要予測(-10.0%)	2.1	406億円	9.9%						
	②需要予測(+10.0%)	2.7	603億円	11.8%						
	③建設費(-10.0%)	2.6	538億円	12.0%						
	④建設費(+10.0%)	2.2	464億円	9.8%						
	⑤建設期間(-10.0%)	2.4	523億円	10.9%						
	⑥建設期間(+10.0%)	2.3	470億円	9.9%						
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送能力の向上による農水産業の振興発展 ・観光産業の振興発展 ・地域所得の増大及び雇用の拡大 									
その他	<p>沖縄県知事、石垣市長、「新石垣空港早期建設を進める郡民の会」等からの早期建設の要請があるほか、県議会、石垣市議会等において全会一致による早期建設の要請決議がなされている。</p> <p>また、エアライン3社からも滑走路延長の強い要請がある。</p> <p>なお、環境影響の見通しも含め、「一般空港の整備指針(案)」の各評価項目は満足していると判断される。</p>									
概要図(位置図)	新石垣空港・概要図.pdf									

位置図



島内位置図



空港概要図

